

事務事業名		体育施設等管理運営業務			<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業 <input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業	
政策体系	政策名	06 豊かな心を育む人づくりの推進			事業期間	
	施策名	29 生涯スポーツの振興				
	基本事業名	01 スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実			<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 昭和30 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
根拠法令		大船渡市体育施設条例			予算科目 会計 款 項 目 事業 01 10 06 01 19 02 08 03 02	
所属	部課名	教育委員会事務局生涯学習課				
	課長名	木川田大典				
	係名	体育振興係	電話	27-3111		
	担当者	及川 悠輔	内線	273		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・体育施設、設備等の維持管理を行う事業。対象となる体育施設は、体育センター、市民体育館、市営球場、市民テニスコート、市民弓道場、田中島グラウンド、三陸体育館、三陸総合運動公園、三陸B&G海洋センター、市民プール、大船渡市山村広場、河川敷公園多目的広場、河川敷公園少年野球場の13施設で、事業内容は次のとおりである。 ①施設等の使用許可に関する業務(使用許可申請受付・使用許可書交付)、②施設等の維持管理に関する業務(施設・貯水槽清掃業務、浄化槽維持管理業務、夜間警備業務、自動ドア保守点検業務、消防設備点検業務等) ・平成18年度から指定管理者制度を導入し、財団法人大船渡市体育協会へ指定管理している。 ・事業費は、財団法人大船渡市体育協会への指定管理料、施設修繕料などに支出される。					全体計画(※期間限定複数年度のみ) 総投入量(千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) ・施設等の使用許可に関する業務 ・施設等の維持管理に関する業務 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年度と同様。	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 名称 単位 ア 使用許可件数 件 イ ウ	
	② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 ・市民 ・体育施設	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 単位 カ 人口 人 キ 体育施設数 箇所 ク
	③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 施設を良好に維持管理し利用に供する。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 単位 サ 体育施設等の延べ利用者数 人 シ ス
	④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) スポーツ・レクリエーション施設が整備されている。	

(2) 総事業費・指標等の推移																																																																																																																																																																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>年度</th> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(実績)</th> <th>25年度(実績)</th> <th>26年度(目標)</th> <th>27年度(目標)</th> <th>28年度(目標)</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>単位</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">投入量</td> <td rowspan="5">事業費</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td>671</td> <td>486</td> <td>1,639</td> <td>3,000</td> <td>3,000</td> <td>3,000</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td>58,736</td> <td>43,747</td> <td>64,191</td> <td>65,000</td> <td>65,000</td> <td>65,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>59,407</td> <td>44,233</td> <td>65,830</td> <td>68,000</td> <td>68,000</td> <td>68,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td>人</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td>300</td> <td>300</td> <td>300</td> <td>300</td> <td>300</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>1,200</td> <td>1,200</td> <td>1,200</td> <td>1,200</td> <td>1,200</td> <td>1,200</td> </tr> <tr> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>60,607</td> <td>45,433</td> <td>67,030</td> <td>69,200</td> <td>69,200</td> <td>69,200</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑤活動指標</td> <td>ア</td> <td>件</td> <td>5644</td> <td>6000</td> <td>8032</td> <td>9000</td> <td>9000</td> <td>9000</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">⑥対象指標</td> <td>カ</td> <td>人</td> <td>39376</td> <td>39,117</td> <td>38,896</td> <td>—</td> <td>38938</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td>箇所</td> <td>13</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>サ</td> <td>人</td> <td>127,266</td> <td>245,796</td> <td>133,561</td> <td>450,000</td> <td>480,000</td> <td>480,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑦成果指標</td> <td>シ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)			単位							投入量	事業費	国庫支出金	千円						都道府県支出金	千円						地方債	千円						その他	千円	671	486	1,639	3,000	3,000	3,000	一般財源	千円	58,736	43,747	64,191	65,000	65,000	65,000		事業費計(A)	千円	59,407	44,233	65,830	68,000	68,000	68,000	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	延べ業務時間	時間	300	300	300	300	300	300	人件費計(B)	千円	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	トータルコスト(A)+(B)	千円	60,607	45,433	67,030	69,200	69,200	69,200									⑤活動指標	ア	件	5644	6000	8032	9000	9000	9000	イ								ウ								⑥対象指標	カ	人	39376	39,117	38,896	—	38938	—	キ	箇所	13	12	13	13	13	13	ク								サ	人	127,266	245,796	133,561	450,000	480,000	480,000	⑦成果指標	シ								ス							
		年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)																																																																																																																																																																															
		単位																																																																																																																																																																																					
投入量	事業費	国庫支出金	千円																																																																																																																																																																																				
		都道府県支出金	千円																																																																																																																																																																																				
		地方債	千円																																																																																																																																																																																				
		その他	千円	671	486	1,639	3,000	3,000	3,000																																																																																																																																																																														
		一般財源	千円	58,736	43,747	64,191	65,000	65,000	65,000																																																																																																																																																																														
		事業費計(A)	千円	59,407	44,233	65,830	68,000	68,000	68,000																																																																																																																																																																														
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2																																																																																																																																																																														
		延べ業務時間	時間	300	300	300	300	300	300																																																																																																																																																																														
		人件費計(B)	千円	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200																																																																																																																																																																														
		トータルコスト(A)+(B)	千円	60,607	45,433	67,030	69,200	69,200	69,200																																																																																																																																																																														
⑤活動指標	ア	件	5644	6000	8032	9000	9000	9000																																																																																																																																																																															
	イ																																																																																																																																																																																						
	ウ																																																																																																																																																																																						
⑥対象指標	カ	人	39376	39,117	38,896	—	38938	—																																																																																																																																																																															
	キ	箇所	13	12	13	13	13	13																																																																																																																																																																															
	ク																																																																																																																																																																																						
	サ	人	127,266	245,796	133,561	450,000	480,000	480,000																																																																																																																																																																															
⑦成果指標	シ																																																																																																																																																																																						
	ス																																																																																																																																																																																						

事務事業ID	0995	事務事業名	体育施設等管理運営業務
--------	------	-------	-------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	市営水泳プールが整備された昭和30年から、体育施設の管理運営事業が始まった。以降、昭和53年建築の市民体育館など、整備された体育施設にかかる管理を実施している。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	<ul style="list-style-type: none"> ・市体育施設の大半が昭和50年代に整備されたものであり、30年以上が経過し、施設の老朽化が目立っている。毎年のように修繕が必要とされる。 ・施設は、スポーツやレクリエーション活動のほか、踊りの練習などの文化活動や地域の防災訓練などにも幅広く利用されている。 ・三陸町との合併により、体育施設が増加し、施設利用者も増えた。 ・平成21年度から、茶屋前テニスコート、フットサルコートについては、港湾経済課の管理となった。 ・東日本大震災により多くの施設が使用できない状況となっている。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	東日本大震災により、多くの体育施設が使用不能となっており、早期の整備復旧が望まれている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 施設設備の維持管理を充実することにより、その機能が良好な状態で利用に供されることから、政策体系に結びつく。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 市有施設である。また、市民が安心して快適にスポーツ活動を行ううえで欠かすことができない事業である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 対象等については、拡大の余地はなく適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ ・経年劣化による施設等の不具合や突発的な破損・故障が生じやすくなっている。 ・修繕は、緊急性・優先度を考慮して対応しているが、予算の関係で、十分対応できないものがある。 ・予算を増額することにより、施設等の維持管理が充実する。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 事業を廃止した場合、施設等の破損や故障が放置されるため、施設の機能が損なわれ、快適な余暇活動等に支障をきたす。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 他に類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 老朽化により、施設等の故障や不具合箇所が増加が見込まれることから、事業費削減の余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 施設等の保守点検に係る管理委託に代えて、平成18年度から指定管理者制度を導入した。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 条例の規定により、使用者から使用料を徴収している。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>施設の老朽化が目立つことから、緊急度や優先度を考慮し、計画的に施設の改修を行っていく必要がある。 東日本大震災により多くの施設が被災したことから、それらの施設の早急復旧を図る必要がある。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>既定予算内での適切な維持管理に努めるとともに、既定予算で対応できない急を要する修繕等については、補正予算対応とする。 東日本大震災で被災した施設は、災害復旧事業費補助金を導入し、早期に施設復旧を図る。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			●	維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			●																		
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p>																						

(職名) ※原則として施設の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	生涯学習課長	木川田大典
-------	--------	-------

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>概ね適切な事務事業執行がなされている。施設の経年劣化に対応していく必要がある。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>継続して事務事業を実施する。被災した施設については、災害復旧事業費補助金を導入し、早期に復旧を図るとともに、施設の適切な維持管理を図っていく。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			●	維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			●																		
	維持			×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

<p>(1) 行政経営推進会議等での指摘事項</p>
